

各委員会・専門部会活動報告 ～青年部会～

三県合同富士山清掃活動

実施日時 平成 28 年 9 月 21 日(水)～22 日(木)

場所 山梨県富士吉田市

参加人数 49 名

■はじめに

神奈川県産業廃棄物協会青年部は、CSR 活動と環境意識の向上を目的に、富士山の清掃活動を計画しました。これからの業界を背負う者として、「青年部員は自覚を持ち色々な協会活動に積極的に参加し、青年部の存在意義を示して行きたい。また、結束力を高めたい」との思いから山梨県産業廃棄物協会、さらには静岡県産業廃棄物協会のそれぞれの青年部に呼びかけたところ、快くお受けいただいたことから、「産三山プロジェクト」として実現したものです。

■自分の目で確かめ、自ら行動する

平成 28 年 9 月 21 日、当日はあいにくの雨。産三山プロジェクトに参加した者、49 名。雨の中、参加者は、1 時間 30 分にわたり手作業で精力的に清掃活動を行いました。山道のあちらこちらで、砕いたタイルや瓦、石膏ボードなどの建築廃材が散乱。また、布団までありました。これらを目の当たりにして参加者からは、驚きの声とともに投棄者のモラルを問う声が上がりました。遠くから見える富士山は、雄大で、だれからも愛される美しい山、とりわけ雪をいただいた冬の富士山はとりわけ魅力的です。しかし、私たちが見る山道は、無残な姿をさらけ出したままです。参加者からは、なにごとも、

自ら行動し、自分の目で見て、確かめることの重要性を再認識させられた、との思いでした。

■県域を越えた協力関係の構築に向けて

プロジェクト名の産三山プロジェクトは、産業廃棄物協会の「産」、三県合同の「三」、そして富士山の「山」から名付けたものです。また、全国産業廃棄物連合会青年部協議会では、山梨県と神奈川県は関東ブロック、静岡県は中部ブロックに属しており、ブロックを超えた連携という意味でも大変意義のある取組だと思っています。

加えて、今後想定される南海トラフ地震や大規模自然災害といった想像を絶するような地震・災害の復興・復旧には今回の様な広域的な取組が最も効果的であり、重要であることはだれもが認めるどころだろうと思います。

このたびの私たちの富士山清掃活動は、小さな取組ではありますが、広域的な取組の大きな第一歩でもあると思っています。お互いが、汗をかき、声を掛け合って、一つひとつ片づけた不法投棄の山は、清掃活動に参加した会員の心に熱く焼き付いたものと思っています。こうした熱い思いがあれば、県域を越えた広域的な取組にも十分、協力の輪が広がってくれるものと信じています。

